

65歳の悪あが記

栗田 哲郎



【日本橋～三条大橋：492キロ 栗田は小田原宿～三条大橋の430+30キロ】

5月1日～17日、かねてより実行したいと考えていた東海道五十三次をどうにか完歩することが出来た。一つには現在の自分の**体力・脚力測定**の為、そして定年退職し今後の**己に“喝”**を入れる為。小生が10歳の時亡くなった**親爺**が生まれ育った三重県桑名市(桑名宿)に一度は行ってみたい、そして**弥次喜多、広重の世界**を幾らかでも肌で感じたいとの思いが動機である。途中何度となく止めたいと思ったが、家族は勿論多くの知人に宣言した手前それも出来ず、兎に角歩き続け何とか三条大橋に辿り着けた次第である。以下脈絡無く、備忘録として記しておく。

【こりゃ参った！編】

- ・脚力には多少の自信があるつもりではあったが、平均一日30キロ以上の日々朝筋肉パンパンのままでの出発の毎日。何より、血豆・靴擦れにはホトホト参った！足裏は中々鍛えようがない。特に石畳の下り坂、朝一や休憩後のスタート時の痛みには耐え難きものがあった。
- ・雨に降られたのは3日間のみではあったが、背中の大きなバッグにゴミ袋を被せ傘をさしてのウォーキングは距離が稼げず手こずった。靴に雨が沁み込み、足裏の皮をやわやわにし悪化させたのは言うまでもない。
- ・結局使わなかったカメラ、多すぎた衣類(3日分あればコインランドリで充分)、無用なアメニティなどで重いリュックサックが肩に食い込んで難儀。



【ジャージで通す】



【下りの石畳】



【夜間ワセリン塗って回復？】

【残念！！編】

・もともとグルメ旅ではなかったが、夕方泊まる宿でシャワーを浴びるともう一歩たりとも動けず、結局外食は皆無！全てコンビニの夕食となった(勿論毎日のビールはことその他旨かった！)

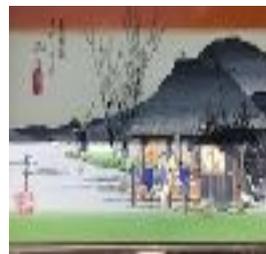
・これだけは食べよう！と考えていた江戸時代からの名物 ①由比宿の桜えび ②丸子宿のとろろ汁 ③桑名の焼きはまぐり・・・すべてコンビニ弁当に化した！(GWということもあり、2時間待ちの有名店も諦めた)



【浜松・吉田の鰻】



【丸子宿 とろろ汁 丁子屋】



【広重の丸子宿 丁子屋】



【由比宿 桜えび】

【難所編】江戸時代①大井川・・・箱根八里は馬でも越すが越すに越されぬ大井川

②箱根八里・・・小田原宿～三島宿。旧街道は獣道

③新居の関所・・・入り鉄砲に出女。

栗田の難所①やっぱり箱根八里・・・男坂の登りより下り女坂がキツイ！

箱根八里は今月日本遺産に認定とか。えっ今頃??

②小夜の中山峠・・・茶畑以外何も無い。孤独にUP&DOWN

③鈴鹿峠・・・1号線にも鉄道にも見放された地。覚悟していたが以外に楽勝！でも精神的に飽きた。



【江戸の大井川】



【箱根 一見楽そう?】



【小夜の中山峠付近】



【宇津の谷峠 鶯の細道
まるで登山道、きつかった!】

【宿場あれこれ編】

- ・ **ベスト3** : ①当時の面影満載の**関宿** ②広重で有名、随一の景勝地の**薩埵(さった)峠** ③歩いていて気持ち良い**興津宿**



【2キロの昔ながらの関宿】 【さった峠 本来奥に富士山が】 【広重のさった峠 駿河湾一望!】 【駿府城の弥次喜多】

- ・ 残念な**ワースト3** : ①海路であった“七里の渡し”も今いずこ?の宮宿
②“跡”さえ無く、素通り余儀なくなれた石部宿!
③江尻(清水)、府中(静岡)、四日市ほか旧街道がズタズタに分断。やっと本陣辿り着くも〇〇跡の標識のみ。



【今やこれのみ! 宮宿】 【家康ゆかりの山中八幡宮門前に巨大なラブホテル!】 【唯一の宿場の痕跡! ?】 【〇〇跡 目立たね~!】

・ もう一度ゆっくり来たい**ベスト3**

- ①岡部宿・ ・ 観光課の親切な椿原^{ちんばら}さんにお会いしたかった。大量の資料・アドバイスをいただいた。
- ②御油~赤坂宿・ ・ 五十三次最短の1.7K。素通りしてしまった。
- ③日本橋~小田原宿70キロ・ ・ 今回PASS。いつか近い内に?

・ 旨かった!**ベスト3** ~~悲惨な食生活~~

- ①箱根、甘酒茶屋の甘酒・ ・ 過酷な五十三次、やはり甘いもの!
- ②京都、立食いそばの“都そば”天婦羅そば・ ・ 京都人は蕎麦派多い?
- ③国道沿いの丸亀うどん(トホホ)・ ・ 1号線沿いに旨いもの無し!



【箱根 甘酒茶屋】



【京都 都そば】



【全国区 丸亀うどん】



【宮宿 名古屋ワシントンH 朝食、風呂最



高!!】

【驚き！！編】

- ・入社間近の大学卒業直後の女性(ワッゲル部)に追い抜かされる！ネットカフェ泊！
- ・一年間、何回もかけての挑戦！の横須賀の80歳の女性
- ・弥次喜多像の目立たぬ小ささ！（それに比べ奇人高山彦九郎像の大きい事）
- ・東海道三大難所(箱根・鈴鹿峠・さった峠?)。覚悟していた鈴鹿などとはど
うということなくす～いすい！
- ・京都、名古屋は勿論、いたるところに外国人。中国人貸し切り状態のピジホも！外国人が行きたい観光地4年連続No1の伏見稻荷は圧倒的に外国人。和服来て“がに股”で頂上目指すアジア系ガッツ派も多し。



【桑名宿】

～～父を訪ねて95里～～

桑名市役所女性職員が一生懸命調べてくれ、亡き父親の生まれ育った地を訪ねる。三重県桑名市大字新地2903の1は、現在桑名市新地72-1。現在『小野山』さんと言うお宅。数軒先の『栗

田』

姓の表札を訪ね、現在多くは無いが数軒栗田姓の家があることを聞く(もしかして親戚??)。桑名の七里の渡し場から一里、桑名駅から2キロ、街道にも近く便の良いところ。愛知⇒新潟⇒白河⇒桑名の代々松平家に仕えたとは聞いたことあるが、詳細不明。何故か途中の清水(江尻宿)でも栗田姓の看板や表札を多く見

た。



【生地：現在小野山宅】

【この栗田宅の前の家も栗田】

【クリタ整骨院】

【総括・雑感】 計約460キロ。日本橋～小田原間は、日本橋～品川間を既

に歩いており、仕事場・居住地としてウロウロした神奈川を歩く気がせず、迷ったが今回パスした。前半は文字通り旧東海道を一里塚や本陣、脇本陣、旅籠、高札場跡や問屋場などを確認しながら丁寧に見て歩いた。後半は、宿泊場所の都合や旧街道が分断されていて道に迷うことも多く、“**とにかく三条大橋に到達！**”と言う思いで国道1号線を車がブンブン走る中歩くこととなった。 🚶 🚶 🚶

今回、道に迷った時の為、あるいは当日辿り着いた所での宿泊予約などの為ガラケー携帯を**スマホ**に変えたが、一か所でノンビリ写真パチリなどと言う余裕無く、持参したカメラでは結局一枚も撮っていない。又、位置情報も却って紛らわしく迷う事少なくなき、自分の**勘ピュータ**の方が正しいことが多

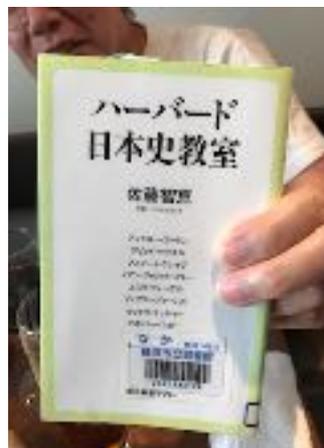
かった(未だにスマホに慣れない・・・)。 📱 📱 📱

いずれにせよ今でしか出来ない良い経験をさせてもらった。事前下調べ不十分も却って良かったかも知れない。難所や長い距離を脳にインプットされるとそれだけで戦意喪失、ゲンナリしてしまったか？次は中山道？奥州堂？などと言われても今はその気は無いが、今回の旅はこれからの人生で時に思い出す良い経験となりました。恐らく100人以上の人びとと話をさせていただいたが、**皆さん親切**で有難くさらに前へとやる気を出させてくれました。三河の国に入った二川宿手前にポツンとあった喫茶店の引田天功似？のママさん、雨でずぶ濡れだった為助かりました！長時間有難う！吉原宿で泊まった民宿の女将さんにご主人、長時間吉原の今昔を教えてくださいました、朝おにぎりまで作ってくれて有難う！原宿のラーメン屋のおばあちゃん、ノンアルビールとギョーザ旨かった！大量の飴玉、元気の源になりました。その他いかにも宿場歩き旅と分かる小生に声掛けてくれた人達、こちらからの声掛け

に優しく応えてくれた皆さん有難うございました(日本人、まだまだ捨てたものじゃありません)。 これからの予定？『文武両道』！暫くの間少しは脳に刺激を与えるお勉強をし、夏頃？かねてから予定し車も準備OKの車中泊旅をしたいと思っています。 北海道から？これまで余り縁がなかった九州、四国から？期間はまずは1か月程度？？？これから楽しみながら考えます。



【ゴール三条大橋 弥次喜多像】



【小寺氏推薦図書でも読みましょうかね！】

【もう一歩も歩けね～！】

完